

(様式第9)

国 循 発 550 号
平成21年10月 5日

厚生労働大臣 長 妻 昭 殿

国立循環器病センター
院長 友池 仁 殿

国立循環器病センターの業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	100人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	124人	125人	249人	看護業務補助	19人	診療エックス線技師	
歯科医師		2人	0.3人	理学療法士	7人	臨床臨床検査技師	59人
薬剤師	22人	8人	30人	作業療法士	3人	衛生検査技師	
保健師				視能訓練士	1人	検査その他	
助産師	19人		19.0人	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	
看護師	524人	3人	527人	臨床工学技士	14人	医療社会事業従事者	1人
准看護師				栄養士		その他の技術員	6人
歯科衛生士				歯科技工士		事務職員	55人
管理栄養士	3人		3.0人	診療放射線技師	39人	その他の職員	22人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	517.2人		517.2人
1日当たり平均外来患者数	672.7人	3.3人	676.0人
1日当たり平均調剤数			637.5人 剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	103人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックグリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、膵動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性なもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はヒオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齧蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
ベーチェット病	9人	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	240人
多発性硬化症	3人	ウェゲナー肉芽腫症	1人
重症筋無力症	4人	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	365人
全身性エリテマトーデス	27人	多系統萎縮症	0人
スモン	1人	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
再生不良性貧血	0人	膿疱性乾癬	0人
サルコイドーシス	64人	広範脊柱管狭窄症	1人
筋萎縮性側索硬化症	1人	原発性胆汁性肝硬変	0人
強皮症/皮膚筋炎及び多発性筋炎	10人	重症急性膵炎	0人
特発性血小板減少性紫斑病	9人	特発性大腿骨頭壊死症	0人
結節性動脈周囲炎	1人	混合性結合組織病	12人
潰瘍性大腸炎	8人	原発性免疫不全症候群	0人
大動脈炎症候群	88人	特発性間質性肺炎	1人
ビュルガー病	31人	網膜色素変性症	5人
天疱瘡	0人	プリオン病	0人
脊髄小脳変性症	8人	原発性肺高血圧症	104人
クローン病	0人	神経線維腫症I型/神経線維腫症II型	1人
難治性肝炎のうち劇症肝炎	0人	亜急性硬化性全脳炎	0人
悪性関節リウマチ	1人	バット・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
パーキンソン病関連疾患	23人	特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	96人
アミロイドーシス	4人	ライソゾーム病(ファブリー(Fabry)病)含む	3人
後縦靭帯骨化症	5人	副腎白質ジストロフィー	人
ハンチントン病	0人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に 1 回程度 1ヶ月間に 4 回程度	
剖 検 の 状 況	解剖症例数 57例	剖検率 32.0%

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
患者に合わせて鍼刺激を自動調節し、ヒト自律神経を確実に治療する、サーボ電気鍼臨床実用装置の開発	神谷 厚範	循環動態機能部	15,080,000	補 委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
カテーテル式マイクロ能動循環補助デバイスの研究開発	星 英男	人工臓器部	2,600,000	補 委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
生理活性ペプチドおよびタンパク質の ¹²³ I標識とマイクロイメージングシステムに関する研究	飯田 秀博	放射線医学部	7,384,000	補 委 原子力試験研究費
自己細胞移植再生医学における細胞播種手技の確立とPETによる組織再生過程の追跡	山岡 哲二	生体工学部	6,520,000	補 委 原子力試験研究費
心不全の診療支援のためのSPECT/PETによる新しい心臓機能解析の技術開発と臨床評価	石田 良雄	放射線診療部	4,129,000	補 委 原子力試験研究費
PET胸部検査における体動補正システムの開発と定量的心筋機能評価の迅速・高精度化	渡部 浩司	放射線医学部	3,785,000	補 委 原子力試験研究費
リガンド固定化相と細胞表面で形成されるソフト界面での動的現象の評価と応用	山岡 哲二	生体工学部	7,410,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
G蛋白質シグナルによる物質輸送ダイナミズムのバイオイメージング解析	望月 直樹	循環器形態部	13,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
膜プロトンセンサーの細胞内イオンセンサーとの相互作用による活性制御機構の解明	若林 繁夫	循環分子生理部	12,900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
アンジオポエチン-1/Tie2受容体シグナルの空間的・機能的制御機構の解明	福原 茂朋	循環器形態部	5,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ADAMTS13の基質認識・切断に対する細胞外環境の効果	宮田 敏行	病因部	2,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
小胞体関連分解を担うタンパク質複合体の全容解明とその標的タンパク質の同定	小亀 浩市	脈管生理部	3,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
血管内病態診断のためのマルチモダリティ画像重ね合わせ技術の開発	越野 一博	放射線医学部	780,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
患者個人に適応した慢性心不全に対する安全な運動療法の本格的実用システムの開発	水野 正樹	循環動態機能部	1,560,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
筋強直性ジストロフィ症に関連する選択的スプライシング制御因子の構造生物学的研究	柴田 洋之	心臓生理部	1,820,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
低分子量G蛋白質Rap1による細胞間接着制御機構とその生体内における役割の解析	福原 茂朋	循環器形態部	2,340,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
リボソームサブユニット解離機構	廣川 剛	疫学部	1,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
血管内皮細胞作動分子の相互作用による血管機能の病的変化の誘導機構に関する研究	藤田 佳子	脈管生理部	2,080,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
生理活性ペプチドの特異性を生かした新しい循環器疾患治療法の開発	徳留 健	病因部	1,690,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
新規足細胞保護因子および傷害因子の同定と新たな糸球体再生・修復治療法の開発	澤井 一智	生化学部	1,690,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
メタボリックシンドロームにおける腎障害進展のメカニズムの解明	榎野 久士	外来部	1,690,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
生理活性ペプチドを用いた新規心血管神経脂肪保護再生療法の開発	山原 研一	再生医療部	2,080,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
脱細胞化神経における再生誘導能と表面修飾に関する研究	江橋 具	生体工学部	2,340,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
超分子ナノデバイスによる嚢胞性線維症に対する経肺遺伝子治療法の開発	鈴木 朗	バイオサイエンス部	1,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ダール食塩感受性高血圧ラットの候補遺伝子としてのP2rx4の解析	日浦 由美子	疫学部	2,990,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
新規生理活性ペプチドの同定と機能解析による新しい生体調節機構の解明	森 健二	生化学部	2,210,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ADAMTS13変異マウスを用いた血栓性血小板減少性紫斑病発症修飾要因の探索	坂野 史明	病因部	2,210,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
循環器系人工組織のブレインプランテーションによる体内自己組織化	中谷 武嗣	臓器移植部	7,670,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
緊急使用および長期使用が可能な抗凝固療法不要の次世代型PCPS装置の実用化開発	巽 英介	人工臓器部	9,620,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
恒久的使用を目的とした空気圧駆動式ウェアラブル全置換型人工心臓の早期実用化研究	本間 章彦	人工臓器部	21,840,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
統合的人体シミュレーションを目標としたバーチャル心臓の機能モジュール化の研究	中沢 一雄	研究機器管理室	3,250,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ペプチドーム解析に基づく組織特異的なプロセッシング予測法の開発	南野 直人	薬理部	6,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ADAMファミリー関連タンパク質の立体構造と作用機構の解明	武田 壮一	心臓生理部	4,940,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
筋変性疾患におけるトランスポータ・チャネルの病態的意義の解明と治療への応用	若林 繁夫	循環分子生理部	5,720,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
アデノシンによる心不全診断・治療におけるトランスレーショナル研究	北風 政史	臨床研究開発部	7,150,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
MHC確立ミニプタ同種腎移植モデルを用いた慢性移植腎血管病変に対するHGFの効果	佐田 正晴	再生医療部	3,770,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
適応制御を用いた薬剤投与による心不全血行動態の自動制御システムの開発	杉町 勝	循環動態機能部	8,840,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
細胞外マトリックス模倣型合成スキャホールドを用いた神経組織の再生	山岡 哲二	生体工学部	11,180,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
動脈硬化性疾患の発症に直結する新規バイオマーカーの発見と早期診断・治療法の開発	池田 康行	病因部	8,190,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
体外循環装置における血液損傷低減を目指した血液空気混合の影響に関する研究	築谷 朋典	人工臓器部	2,210,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
血管新生のための血管内皮細胞特異的な乖離・接着調節機構の解明	望月 直樹	循環器形態部	10,920,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
抗血栓性因子の機能低下による血栓症発症の解明とその成果に基づく予防戦略の確立	宮田 敏行	病因部	5,980,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
循環管理を支援する自動治療システムを臨床実用化するための研究	神谷 厚範	循環動態機能部	7,150,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
脳動脈瘤発生増大破裂に関わる炎症の分子カスケードの解明と予防的治療法の開発	橋本 信夫	総長	3,250,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
脳虚血後の環境要因が与える脳機能再生メカニズムの解明：脳血流量と神経再生との関連	横田 千晶	病因部	1,040,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ハイドロキシアパタイト単結晶複合体ナノ界面の細胞機能	古菌 勉	生体工学部	1,430,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
人工心臓装着中の重症心不全患者に対する足熱療法による血管内皮機能・心機能改善効果	駒村 和雄	循環動態機能部	2,210,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
小胞体膜タンパク質によるタンパク質品質管理に関する研究	小亀 浩市	病因部	2,210,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
細胞内Ca ²⁺ センサータンパク質NCS-1の心臓における生理機能の解明	西谷 友重	循環分子生理部	1,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
睡眠時無呼吸症候群と代謝性症候群および循環器疾患との関係に関する研究	小久保 喜弘	予防検診部	1,820,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
心筋梗塞後重症心不全に対する最新薬物治療法の開発	李 梅花	循環動態機能部	1,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
内因性心臓保護機構の分子解明—新しい心不全治療法の開発に向けた基盤的研究	岸本 一郎	臨床検査部	2,210,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
若年性大動脈解離性疾患の原因遺伝子の解析と探求	森崎 裕子	バイオサイエンス	2,340,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
生活習慣病に関わる新規生理活性ペプチドの探索と機能解析	宮里 幹也	生化学部	1,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
同位体酸素O-17を使用したMRI脳灌流計測技術開発	佐藤 博司	先進診断機器開発室	1,040,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
虚血に伴う心臓自律神経過剰興奮機序とその心筋傷害に及ぼす影響	秋山 剛	心臓生理部	1,560,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
心筋梗塞急性期における循環動態のコンピュータ制御による、迷走神経刺激治療法の確立	上村 和紀	循環動態機能部	1,430,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
分子機能定量可能な局所拡大撮像SPECTのための画像再構成アルゴリズムの開発	銭谷 勉	放射線医学部	2,860,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
魚類における新規グレリン受容体の同定と作用連関の解明	海谷 啓之	生化学部	1,170,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
構造解析にもとづくADAMTS13の基質認識・切断機構の解明	秋山 正志	病因部	2,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
結晶構造に基づいたFERキナーゼの生理作用と制御メカニズムの解明	増田 道隆	循環器形態部	2,860,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
順遺伝学を基盤とした造血・心血管発生の分子メカニズムの解明	川原 敦雄	循環器形態部	1,690,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
日米の血漿ホモシステイン、関連ビタミンB群および潜在性動脈硬化所見の比較研究	岡村 智教	予防検診部	1,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
心筋症・心不全発症におけるTRPV2チャネルの病態的役割の解明と治療薬の開発	岩田 裕子	循環分子生理部	1,820,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ストレス応答破綻として捉えた心血管病の分子機構と、新たな治療法開発に関する研究	井上 信孝	脈管生理部	1,690,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
超急性期脳卒中患者における24時間自由行動下血圧測定を用いた血圧動態の評価	豊田 一則	脳血管内科	1,690,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
BMP-3bの新しいアディポサイトカインとしての機能解析	日野 純	生化学部	2,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
β3インテグリンの機能調節に関わる分子のクローニングおよびその解析	本田 繁則	病因部	1,391,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
レチノイン酸の母体投与による内臓錯位および大血管転位モデルマウスの遺伝子解析	白石 公	小児循環器診療部	1,553,322	補 委 文部科学省科学研究費補助金
人工心臓に適する機械弁の開発を目的とした流体力学的観点からの基礎研究	妙中 義之	副所長	1,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
移植血管組織の石灰化に関する研究	中谷 武嗣	臓器移植部	800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
特別研究員奨励費	野瀬 和利	病因部	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
特別研究員奨励費	江浦 由佳	病因部	800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
NCX分子複合体の生体膜マイクロドメイン集積機構の解析	荒井 勇二	バイオサイエンス部	300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
生命科学・医学の発展に対応した社会規範形成ー生命倫理基本法の構築	森崎 隆幸	バイオサイエンス部	130,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
脱細胞化神経をバイオスキャフォールドとする新しいハイブリッド型人工神経の開発	馬原 淳	生体工学部	520,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
胚性幹細胞および骨髄間質細胞より誘導した神経幹細胞を利用した脳梗塞治療の開発	林 拓也	放射線医学部	390,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
C型ナトリウム利尿ペプチドを用いた難治性心筋炎の診断・治療法の開発	寒川 賢治	所長	130,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
デクスメドミジンの心筋保護効果(心臓マイクロダイアリス法によるアプローチ)	秋山 剛	心臓生理部	130,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
システム生理学的アプローチを用いた生体呼吸調節系の運動トレーニング適応機構の解明	高木 洋	循環動態機能部	130,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
システム生理学的アプローチを用いた生体呼吸調節系の運動トレーニング適応機構の解明	稲垣 正司	循環動態機能部	130,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
次世代型心循環機能シミュレータの開発	李 桓成	人工臓器部	520,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
超高感度画像ガイド下超高分解能核磁気共鳴画像による微小リンパ節転移診断技術の開発	佐藤 博司	(先進診断機器開	130,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
口腔胃相関からみた摂食早期の一酸化窒素介在型グレリン分泌機構	横田 千晶	脳血管内科	200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
口腔胃相関からみた摂食早期の一酸化窒素介在型グレリン分泌機構	寒川 賢治	所長	50,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
長期遠隔成績からみた糖尿病患者に対する至適冠血行再建法に関する研究	小林 順二郎	第二病棟部	22,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
長期遠隔成績からみた糖尿病患者に対する至適冠血行再建法に関する研究	大塚 頼隆	特殊病棟部	2,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
急性心筋梗塞と脳卒中に対する超急性期診療体制の構築に関する研究	野々木 宏	緊急部	35,450,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
急性心筋梗塞と脳卒中に対する超急性期診療体制の構築に関する研究	豊田 一則	リハビリテーション部	500,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
脳卒中地域医療におけるインディケータの選定と監査システム開発に関する研究	峰松 一夫	リハビリテーション部	29,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脳卒中地域医療におけるインディケータの選定と監査システム開発に関する研究	長東 一行	特殊病棟部	2,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
致死性遺伝性不整脈疾患の遺伝子診断と臨床応用	清水 渉	臨床検査部	27,786,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
致死性遺伝性不整脈疾患の遺伝子診断と臨床応用	宮本 恵宏	臨床研究開発部	2,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
ナノ分子イメージングを活用した次世代創薬アプローチ	武田 壮一	心臓生理部	7,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
ナノ分子イメージングを活用した次世代創薬アプローチ	望月 直樹	循環器形態部	19,900,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
ナノ分子イメージングを活用した次世代創薬アプローチ	若林 繁夫	循環分子生理部	2,900,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
光受容体メラノプシンを制御する光フィルターを用いた早産児発達障害を予防する次世代人工保育器の開発	池田 智明	周産期治療部	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
未受診者対策を含めた健診・保健指導を用いた循環器疾患予防のための地域保健クリティカルパスの開発と	岡村 智教	予防検診部	11,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	荻野 均	外来部	18,400,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
降圧治療および抗凝固療法の個人の特性に応じたテーラーメード治療確立に関する研究	河野 雄平	第一病棟部	19,500,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
ヒスタミンと心不全の関連についての検討-H2レセプターブロッカーは心不全を改善するか	北風 政史	臨床研究開発部	27,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
虚血性心疾患に対する外来型心臓リハビリテーションの有効性のエビデンスの確立と普及方策の検討に関する研究	後藤 葉一	生理機能検査部	9,800,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
動脈硬化性疾患の発症予知・進展予防に関する研究	沢村 達也	脈管生理部	27,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
わが国における脳卒中再発予防のための急性期内科治療戦略の確立に関する研究	豊田 一則	リハビリテーション部	16,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
動脈硬化性疾患の危険因子の性差と予防に関するコホート研究	内藤 博昭	放射線診療部	21,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
多施設コホートを基盤とした糖尿病・メタボリックシンドロームの発症要因と脳卒中・心筋梗塞の発症に	吉政 康直	外来部	21,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
大規模コホート共同研究による生活習慣病発症予防データベース構築とその高度利用に関する研究	岡村 智教	予防検診部	2,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
保健指導への活用を前提としたメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出のための横断・縦	岡村 智教	予防検診部	2,400,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金

計 18

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
「多目的コホート(JPHCコホート)」における糖尿病・メタボリックシンドロームの発症要因と実態分析に関	小久保 喜弘	予防検診部	700,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
慢性心不全におけるメタボリック症候群の意義に関する研究	友池 仁暢	病院長	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
急性心筋梗塞、脳卒中の急性期医療におけるデータベースを用いた医療提供の在り方に関する研究	峰松 一夫	リハビリテーション部	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
高磁場MRIと核医学・分子イメージングに基づく動脈硬化の高感度かつ定量的な診断と新しい予防戦略の構築	飯田 秀博	放射線医学部	62,631,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
難治性循環器疾患を克服する超小型ナノ神経センサー兼刺激治療装置の開発	神谷 厚範	循環動態機能部	46,800,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
分散型ナノ植え込み機器を活用した慢性心不全患者の統合的デバイス治療の開発	杉町 勝	循環動態機能部	37,288,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
循環器病治療機器の医工連携による研究開発・製品化・汎用化を実現するための基盤整備に関する研究	妙中 義之	副所長	66,592,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
皮膚貫通型医療機器およびストーマを有する患者のQOL向上を目的としたスキンボタンシステムの開発・実用	巽 英介	人工臓器部	53,079,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
細胞移植医療における細胞のin vivoイメージングへ向けた新規細胞ラベル化用MRI造影剤の開発	山岡 哲二	生体工学部	59,040,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
慢性心不全の予後を改善するための非侵襲で安全・安心な無痛性ICDの実用化臨床試験	杉町 勝	循環動態機能部	40,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
大規模発現解析より得られた新規酵素心臓特異的ミオシン軽鎖キナーゼ(cardiacMLCK)を利用した心不全治療	北風 政史	臨床研究開発部	55,757,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
機能性siRNA経口投与による家族性高コレステロール血症に対する新しい治療薬の開発	斯波 真理子	バイオサイエンス部	47,173,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
ヒトES細胞由来心筋細胞の表面マーカー探索および大量培養・純化システムの構築	日高 京子	バイオサイエンス部	9,400,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
血管病モデルマウスと血管新生可視化マウスの資源化	望月 直樹	循環器形態部	4,406,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
生物資源研究事業の企画及び生物資源の所在情報等に関するデータベースの構築に関する研究	岡村 智教	予防検診部	300,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
疾患関連創薬バイオマーカー探索研究	寒川 賢治	研究所長	16,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
特発性心筋症に関する調査研究	北風 政史	臨床研究開発部	30,100,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
混合性結合組織病の病態解明と治療法の確立に関する研究	京谷 晋吾	第一病棟部	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
原発性高脂血症に関する調査研究	斯波 真理子	バイオサイエンス部	950,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
呼吸不全に関する調査研究	中西 宣文	生理機能検査部	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
血液凝固異常症に関する調査研究	宮田 敏行	病因部	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
SPECT検査の精度向上と施設間誤差のない標準的画像診断法の確立	飯田 秀博	放射線医学部	85,162,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
生活習慣病領域における臨床研究のインフラストラクチャー創生とその応用に関する基盤研究	山本 晴子	臨床研究開発部	101,112,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
高齢者医療とQOL改善に対するグレリンの臨床応用とその基盤的研究	寒川 賢治	研究所長	3,540,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
心原性脳塞栓症患者に対する細胞治療の臨床試験とその発展	田口 明彦	循環動態機能部	12,800,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
食生活・栄養素摂取状況が高齢者の健康寿命に与える影響に関する研究：NIPPON DATA 80・90の追跡調査	岡村 智教	予防検診部	300,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
新生児重傷心疾患に対する予後向上のためのリアルタイム心エコー動画による遠隔診断と新生児心疾患救急治療の根拠に基づく鍼治療の開発	越後 茂之	小児科	5,200,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
循環器疾患に対する根拠に基づく鍼治療の開発	川田 徹	循環動態機能部	2,500,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
乳幼児死亡と妊産婦死亡の分析と提言に関する研究	池田 智明	周産期治療部	19,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
細胞組織工学的手法を用いた中枢神経障害に対する根治的治療法の開発	田口 明彦	循環動態機能部	13,400,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
死亡統計データベースの作成とその研究利用のあり方に関する研究	岡村 智教	予防検診部	450,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
大量出血時の止血能の評価と輸血療法に関する研究	宮田 茂樹	臨床検査部	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
脱細胞化生体組織による再生医療技術の臨床応用	山岡 哲二	生体工学部	8,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
ウイルス動脈輪閉塞症の診断・治療に関する研究	橋本 信夫	総長	14,900,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
ウイルス動脈輪閉塞症の診断・治療に関する研究	宮本 享	特殊病棟部	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
冠・脳血管攣縮の抑制薬としてのS1P3受容体拮抗薬の開発	福原 茂朋	循環器形態部	4,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
急性心筋梗塞、脳卒中の急性期医療におけるデータベースを用いた医療提供の在り方に関する研究	横山 広行	緊急部	4,100,000	補 委 補 厚生労働省科学研究費補助金
半導体などナノ粒子による薬剤・細胞伝達システムの開発	斯波 真理子	バイオサイエンス部	4,400,000	補 委 補 厚生労働省科学研究費補助金
ヒトES細胞を用いたin vitro血管神経細胞分化システムによる「虚血脳再生ホルモン」の探索とホルモン補	山原 研一	再生医療部	1,000,000	補 委 補 厚生労働省科学研究費補助金
ヒトES細胞を用いたin vitro血管神経細胞分化システムによる「虚血脳再生ホルモン」の探索とホルモン補	吉政 康直	外来部	1,000,000	補 委 補 厚生労働省科学研究費補助金
医療機器の臨床試験の実施の基準(医療機器GCP)のあり方に関する研究	妙中 義之	副所長	7,000,000	補 委 補 厚生労働省科学研究費補助金
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	山田 直明	外来部	500,000	補 委 補 厚生労働省科学研究費補助金
新規発症循環器疾患登録システムの開発に関する研究	神崎 秀明	第二循環器内科	322,940	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
新規発症循環器疾患登録システムの開発に関する研究	大原 貴裕	臨床研究開発部	500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
データベースライブラリー化における問題点とその解決策に関する研究	小久保 喜弘	予防検診部	3,800,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
新細胞移植システムの開発	山岡 哲二	生体工学部	3,160,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
大動物を用いた血管再生過程のPET・MRIによる低侵襲追跡	渡部 浩司	放射線医学部	1,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
造血肝細胞分離手法と細胞バリデーション技術の開発	馬原 淳	生体工学部	1,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
心臓移植の体制整備に関する研究	中谷 武嗣	臓器移植部	17,490,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
臍帯血・羊膜・胎盤の安定なる供給システムの確立	池田 智明	周産期治療部	13,920,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
心臓血管外科における再生医療資源の利用法に関する研究	八木原 俊克	副院長	2,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
Branch atheromatous diseaseと大動脈原性脳梗塞の診断、治療に関する研究	成富 博章	臨床心理部	7,800,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
虚血性脳卒中例における動脈硬化ハイリスク病変合併の実態と予後	横田 千晶	脳血管部門	1,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
頸動脈糊種硬化症の発症に関わる新たな遺伝子群の探索と臨床応用	阪本 英二	バイオサイエンス部	1,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費

計 18

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
MRIとPETによる動脈プラークの性状と虚血性脳卒中の相関に関する研究	山田 直明	第三循環器内科	1,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
JAVTASK推進および脳梗塞の機能予後のおよぼす発症前降圧薬の種類による影響	宮下 光太郎	臨床心理科	5,900,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
X線とCTとMRIによる大動脈瘤の破裂予測診断法の開発と確立に関する研究	内藤 博昭	放射線診療部長	3,960,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
偽腔形態と組織性状に基づく大動脈解離症例の拡大・破裂の予測に関する研究	竹下 聡	第二生理機能検査室	1,400,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
大動脈のVasa Vasorumならびに炎症反応の評価・放射光微小血管造影装置およびF-18 FDG PETによる検討に関する研究	福島 和人	R・I診断治療科	1,400,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
脳血管解離の病態と治療法の開発	峰松 一夫	リハビリテーション部	16,740,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
解離性動脈瘤に対する外科治療の標準化	飯原 弘二	無菌治療科	1,200,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
先天性心疾患の解剖学的分類を中心とする臨床情報の集積とその展開	越後 茂之	小児科	2,780,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
先天性心疾患の病院遺伝子の探索と解析	森崎 裕子	バイオサイエンス部	2,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
メタボリック・シンドロームの成因における摂食関連ホルモンと遺伝学的素因の意義の研究	宮本 恵宏	臨床研究開発部	10,640,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
メタボリック・シンドロームと周産期因子に関する臨床的疫学研究	池田 智明	周産期治療部	2,000,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
先天性心疾患患者における摂食関連因子と病態の関連	大内 秀雄	第六循環器科	2,000,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
急性心筋梗塞発症登録及び追跡システムのあり方と構築方法に関する研究	野々木 宏	緊急部	300,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
急性循環器疾患の重症度評価及び治療成績評価システムの開発と効果的運用に関する研究	横山 広行	緊急治療科	28,300,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
急性期脳卒中の重症度・治療成績評価	豊田 一則	第二リハビリテーション科	800,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
くも膜下出血における臨床指標の確立	飯原 弘二	無菌治療科	600,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
院内発症登録におけるデータの標準化と多施設データの電子的収集方式の確立に関する研究	花井 荘太郎	脈管生理部	300,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
急性心筋梗塞の発症登録体制の整備とこのデータベースを用いた病型別合併症別の予後決定因子の検討	大塚 頼隆	内科系心臓集中治療科	600,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
長期耐久性を有する小児補助循環システムの臨床導入前最終基礎研究	八木原 俊克	副院長	12,000,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
抗血栓性に優れ長期耐久性を有する次世代型小児用PCPSシステムの開発	巽 英介	人工臓器部	12,000,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
研究統括	宮本 享	特殊病棟部	600,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
SPECT定量化システムの精度評価と標準化	飯田 秀博	放射線医学部	11,990,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
SPECT定量化解析プログラムのパッケージ化と物理的誤差評価	渡部 浩司	放射線医学部	1,700,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
細小血管障害例における血管反応性と認知機能、再発との関連	横田 千晶	脳血管部門	1,700,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
DTRAG法を用いた新たなデータベース構築に関する基盤的研究	福島 和人	R・I診断治療科	1,700,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
血行力学的脳虚血における脳血流量の定量的評価法の標準化に関する研究	宮本 享	特殊病棟部	6,450,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
モバイル・テレメディシンによるユビキタス・メディカルネットワークシステムの開発に関する研究	野々木 宏	緊急部	5,100,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
不整脈診断における伝送型・連携型心電計の有用性に関する研究	鎌倉 史郎	臨床検査部	1,000,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
モバイル・テレメディシンシステムを用いた病診連携の構築について	横山 広行	緊急治療科	500,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
周術期経食道心エコー及び肺動脈カテーテルの疾患別適応ガイドライン作成	大西 佳彦	手術部	7,400,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
生理活性ペプチドによる新規組織保護再生作用の探索	永谷 憲歳	再生医療部	1,500,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
メタボリックシンドロームとその合併症における生理活性ペプチドの意義解明	吉政 康直	外来部	4,800,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
新規内因性ペプチドによる組織保護再生機序の解明と治療応用に関する基礎的研究	宮里 幹也	生化学部	1,500,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
高血圧管理における外来および家庭血圧と生活習慣病の目標達成に関する研究	河野 雄平	第1病棟部	3,960,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
都市部一般住民を対象とした血圧管理ガイドライン遵守と目標達成度に関する研究	小久保 喜弘	予防検診部	1,200,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費
原発性肺高血圧症における肺血管リモデリングの病理学的検討	植田 初江	病理検査室	5,580,000	補 委 補 ○	厚生労働省循環器病研究委託費

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心疾患病態解明にむけた心臓の発生分化再構築に関わるシグナローム解析	森崎 隆幸	バイオサイエンス部	2,000,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
循環調節ペプチドによる細胞間情報伝達シグナロームの解明	南野 直人	薬理部	3,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
循環調節ペプチドによる新たな細胞間・細胞内情報伝達と制御機構の解明	宮里 幹也	生化学部	2,000,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
心不全発症・進展のメカニズムの解明	北風 正史	臨床研究開発部	1,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
PET/SPECTによる心サルコイドーシスの病態診断に関する研究	石田 良雄	R・I 診断治療科	1,200,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
心筋疾患としての心サルコイドーシスの病理学的検討	植田 初江	病理検査室	1,000,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
心サルコイドーシスの病態と治療に関する研究	鎌倉 史郎	臨床検査部	7,920,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
地域職域における非肥満リスク集積と循環器疾患の関連およびその改善を目的とした健康指導技法の開発	岡村 智教	予防検診部	11,420,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
高リスク高血圧患者における生活習慣修正	河野 雄平	第1病棟部	2,000,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
糖尿病・脂質異常症患者の有効な非薬物療法の検討	吉政 康直	外来部	2,000,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
循環器疾患の地域連携パスの効果的運用システムの確立に関する研究	後藤 葉一	生理機能検査部	8,400,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
脳卒中地域連携パスと評価システムの作成	長束 一行	脳卒中集中治療科	1,500,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
脳卒中の地域連携パスの効果的運用システムの確立に関する研究	上原 敏志	内科脳血管部門	1,300,000	補 委 補 厚生労働省循環器病研究委託費
多目的コホートに基づくがん予防など健康の維持・増進に役立つエビデンスの構築に関する研究	小久保 喜弘	予防検診部	2,700,000	補 委 補 厚生労働省がん研究助成金
筋システムに対する治療研究を臨床に展開するための統括的研究	岩田 裕子	循環分子生理部	2,000,000	補 委 補 厚生労働省精神・神経研究委託費
胎児の成長・発達に影響を及ぼす因子の解明・予防・治療法	白石 公	小児循環器治療部	1,000,000	補 委 補 厚生労働省成育研究委託費
				補 委 補 委

計 16

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

合計232

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hypertens Res	Impact of metabolic syndrome components on the incidence of cardiovascular disease in a general urban Japanese population: the Suita Study.	友池 仁暢	病院長
Eur J Med Mol Imaging	Prediction of functional recovery after revascularization using quantitative gated myocardial perfusion SPECT: a multi-center cohort study in Japan.	友池 仁暢	病院長
Thromb Res	No association between vitamin K epoxide reductase complex subunit	友池 仁暢	病院長
The Annals of Thoracic Surgery	Impact of age at Fontan completion on postoperative hemodynamics and long-term aerobic exercise capacity in patients with dominant left ventricle	八木原 俊克	副院長
The Annals of Thoracic Surgery	Morphologic spectrum of ventriculoarterial connection in hearts with double inlet left ventricle: implications for surgical procedures	八木原 俊克	副院長
European Journal of Cardio-thoracic Surgery	Does the off-pump Fontan procedure ameliorate the volume and duration of pleural and peritoneal effusions?	八木原 俊克	副院長
J. Am. Coll. Cardiol.	Natriuretic peptides enhance the production of adiponectin in human adipocytes and in patients with chronic heart failure.	北風 政史	心臓血管内科
Circulation	Metformin prevents progression of heart failure in dogs: Role of AMP-activated protein kinase.	北風 政史	心臓血管内科
Circ J	Global gene expression profiling in the failing myocardium.	北風 政史	心臓血管内科
Cardiology	Hyperintensity on T2-weighted magnetic resonance imaging in Takotsubo cardiomyopathy.	野々木 宏	心臓血管内科
Hypertens Res	Effects of the Y Chromosome on Cardiovascular Risk Factors in Japanese Men.	野々木 宏	心臓血管内科
Resuscitation	Effectiveness of simplified chest compression-only CPR training for the general public: A randomized controlled trial.	野々木 宏	心臓血管内科
心臓リハビリテーション (JJCR)	急性心筋梗塞症回復期心臓リハビリテーションに参加した高齢患者の退院後継続の規定因子	後藤 葉一	心臓血管内科
Hypertens Res	Effects of the Y chromosome on cardiovascular risk factors in Japanese men	後藤 葉一	心臓血管内科
日本冠疾患学会雑誌	退院後に心臓リハビリテーションに不参加となる急性心筋梗塞症患者における主観的妨げ要因の検討	後藤 葉一	心臓血管内科
Heart Rhythm.	Seasonal and circadian distributions of ventricular fibrillation in patients with Brugada syndrome	鎌倉 史郎	心臓血管内科
Cell Transplant.	Transplantation of mesenchymal stem cells improves atrioventricular conduction in a rat model of complete atrioventricular block.	鎌倉 史郎	心臓血管内科

計17

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究結果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Clin Invest.	The E1784K mutation in SCN5A is associated with mixed clinical phenotype of type 3 long QT syndrome.	鎌倉 史郎	心臓血管内科
American Journal of Nephrology	Brain natriuretic peptide in hemodialysis patients: predictive value for hemodynamic change during hemodialysis and cardiac function.	河野 雄平	高血圧・腎臓内科
Journal of Hypertension	Pulmonary venous flow and risk of cardiovascular disease in essential hypertension.	河野 雄平	高血圧・腎臓内科
Clinical and Experimental Hypertension	Masked hypertension: subtypes and target organ damage.	河野 雄平	高血圧・腎臓内科
Diabet Med.	Decreased circulating CD34+ cells are associated with progression of diabetic nephropathy.	岸本 一郎	動脈硬化・代謝内科
Hypertens Res.	Impact of metabolic syndrome components on the incidence of cardiovascular disease in a general urban Japanese population: the suita study.	岸本 一郎	動脈硬化・代謝内科
Circulation.	Regulator of G-protein signaling subtype 4 mediates antihypertrophic effect of locally secreted natriuretic peptides in the heart	岸本 一郎	動脈硬化・代謝内科
Gen Thorac Cardiovasc Surg	Current status of coronary artery bypass grafting.	小林 順二郎	心臓血管外科
Eur J Cardio-thoracic Surg	Patency rate of the internal thoracic artery to the left anterior descending artery bypass is reduced by competitive flow from the concomitant saphenous vein graft in the left coronary artery.	小林 順二郎	心臓血管外科
日本外科学会雑誌	心臓血管外科の最新治療—不整脈	小林 順二郎	心臓血管外科
Ann Neurol	Heart and vessel pathology underlying Brain infarction in 142 stroke patients.	峰松 一夫	脳血管内科
Neurology	Baseline NIH stroke scale score predicting outcome in anterior and posterior circulation strokes.	峰松 一夫	脳血管内科
Ann Neurol	Takotsubo cardiomyopathy in acute ischemic stroke.	峰松 一夫	脳血管内科
Neurosurgery	Growth Potential and Response to Multimodality Treatment of Partially Thrombosed Large or Giant Aneurysms in the Posterior Circulation.	飯原 弘二	脳血管外科
脳外誌	(特集)脳血管障害におけるEBM 軽症脳虚血に脳梗塞再発率が増加する閾値が存在するのか？ —JET2 Studyの中間報告—	飯原 弘二	脳血管外科
脈管学	不安定プラークを有する内頸動脈狭窄症に対する急性期頸動脈内膜剥離術 (CEA)	飯原 弘二	脳血管外科
Heart View	先天性心疾患の診断-CT/MSCTの有用性と限界へのチャレンジ	白石 公	小児循環器科

計17

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究結果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本小児循環器学会雑誌	母体由来の抗SSA抗SSB抗体による心筋細胞障害のメカニズムについて	白石 公	小児循環器科
日本小児循環器学会雑誌	第3の心筋原基としての心外膜前駆細胞 (epicardium-derived progenitor cell) -多様な分化能と心筋再生の可能性-	白石 公	小児循環器科
Am J Neuroradiol	Subtraction 3D CT Angiography with the Orbital Synchronized Helical Scan Technique for the Evaluation of Postoperative Cerebral Aneurysms Treated with Cobalt-	内藤 博昭	放射線診療部
AJNR	Preoperative Visualization of the Artery of Adamkiewicz by Intra-Arterial CT Angiography	内藤 博昭	放射線診療部
Acta Radiologica	Comparison of Gd-DTPA-Induced Signal Enhancements in Rat Brain C6 Glioma among Different Pulse Sequences in 3-Tesla Magnetic Resonance Imaging	内藤 博昭	放射線診療部
J Anesthesia	The clinical validity of the absolute value of nearinfrared spectroscopy	大西 佳彦	手術部麻酔科
Masui	Pulmonary artery catheter -Its utility and limitation	大西 佳彦	手術部麻酔科
Masui	Cognitive dysfunction after cardiac surgery	大西 佳彦	手術部麻酔科
Hypertension	Impact of high-normal blood pressure on the risk of cardiovascular disease in a Japanese urban cohort: the Suita study	岡村 智教	予防検診部
Atherosclerosis	Low-density-lipoprotein cholesterol and non-high density lipoprotein cholesterol and the incidence of cardiovascular disease in an urban Japanese cohort study: the Suita study	岡村 智教	予防検診部
Hypertens Research	Impact of Metabolic Syndrome Components on the Incidence of Cardiovascular Disease in a General Urban Japanese Population: The Suita Study	岡村 智教	予防検診部

計11

合計45

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究結果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長 友池 仁暢
管理担当者氏名	庶務課長 畑井希久、医事課長 中山泰、調査課長 奥田隆、薬剤部長 小原延章

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画		運営局調査課 (病歴室)	病歴資料については、カルテ、X線フィルムともに入院、外来を含む1患者1ファイル方式とし、コンピュータにより集中管理している。特にカルテは膨大であり効率的に管理するため、アクティブカルテとインアクティブカルテに区分して管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業員数を明らかにする帳簿	運営局庶務課	/
	高度の医療の提供の実績	運営局医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	運営局政策医療企画課	
	高度の医療の研修の実績	運営局政策医療企画課	
	閲覧実績	運営局調査課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	運営局医事課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	運営局医事課	
確保規則第9条の2及び第1条の1各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全推進室	/
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	院内感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	医療安全推進室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	運営局医事課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	確保の状況 規則第1条の1 1 各号に掲げる体制	院内感染のための指針の策定状況	院内感染対策室
		院内感染のための委員会の開催状況	院内感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全推進室
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全推進室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全推進室
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全推進室
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全推進室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全推進室
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全推進室		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全推進室		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	運営局長 中林 圭一
閲覧担当者氏名	庶務課長 畑井 希久、医事課長 中山 泰、調査課長 奥田 隆
閲覧の求めに応じる場所	カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	92.5 %	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	5,878人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	10,665人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,524人	
	D：初診の患者の数	8,861人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任(1)名 兼任(21)名 ・ 活動の主な内容： ○安全管理に関する医療機関内の体制構築に参画し、医療安全に係る委員会で中心的な役割を担い、安全管理上の問題提示、対策評価、質の向上のために必要な事項を提言する。○医療安全に関する職員への教育、研修の企画・運営・評価。○医療事故を防止するための情報収集と分析、対策・立案・評価。 ○事故発生時の対応、再発防止策立案、発生予防及び発生した事故の影響拡大の防止。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
・ 指針の主な内容： ①趣旨、②医療安全推進のための基本的な考え方、③医療に係る安全管理のための委員会・組織に関する基本的事項、④医療に係る安全管理のための職員に対する研修に関する基本方針、⑤センターにおける事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針、⑥医療事故等発生時の対応に関する基本方針、⑦医療従事者と患者との情報共有に関する基本方針、⑧患者からの相談への対応に関する基本方針、⑨その他の医療安全の確保のための基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： 資料1参照	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回
・ 研修の主な内容： ①採用者に対する医療安全講習会 146人、②講演会：医療訴訟ガイダンス 178人、③講演会：肺動脈血栓症の予防と管理 145人、④大規模災害における循環器専門病院の対応 1033人、⑤講演会：医療におけるヒューマンエラーとその対策 1032人、⑥中途採用者医療安全講習会 32人	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 資料2参照	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>①院内感染対策に関する基本的考え方 ②院内感染管理体制 ③職員研修 ④感染症の発症状況の報告 ⑤院内感染発生時の対応 ⑥患者への情報提供と説明 ⑦その他の院内感染対策の推進</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 13 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>①院内感染の調査、予防対策の立案 ②予防対策実施の監視と助言、指導、勧告 ③職員の教育指導 ④院内感染対策の指針及びマニュアルの作成・見直し</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>○多剤耐性菌対策について 551人 ○抗菌薬適正使用について 976人</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>①検出菌報告(月報)を作成し、感染対策委員会で報告 ②検出菌報告(週報)を作成しICTラウンドに活用③多剤耐性菌検出時には、速やかに助言等の対応を実施 ④特定抗菌薬使用の届出の義務化 ⑤院内感染対策マニュアルの内容追加・変更と職員への周知</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>①新採用医師「与薬指示の書き方」 47人 ②新採用看護師「医薬品の保管管理・危険薬の取扱い」 64人 ③技師「検査室での急変対応 -救急カートについて-」 61人</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有 無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>①医薬品の採用 ②医薬品の購入 ③調剤室における医薬品の管理 ④病棟・各部門への医薬品の供給 ⑤外来患者への医薬品使用 ⑥在宅患者への医薬品使用 ⑦病棟における医薬品の管理 ⑧入院患者への医薬品使用 ⑨医薬品情報の収集・管理・提供 ⑩手術・麻酔部門 ⑪集中治療室 (ICU・NCU) ⑫輸血・血液管理部門 ⑬生命維持管理装置領域 ⑭臨床検査部門、画像診断部門 ⑮他施設との連携 ⑯事故発生時の対応 ⑰教育・研修</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>メーカー及び医薬品医療機器総合機構等から随時情報収集し、院内webにてDIニュースとして発信。重大情報・緊急情報については文書による回報を併せて行い、専任医療安全管理者が伝達状況を確認している。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 13 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容： 	
資料4参照	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 計画の策定 (有・無) 保守点検の主な内容： 	
資料5参照	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) その他の改善のための方策の主な内容： <p>医薬品・医療機器安全情報をはじめ、メーカーからの提供情報、インターネットによる情報検索により、医療機器の安全使用関連情報収集し、医療安全推進委員会等で資料等の情報提供を行い院内に周知している。伝達状況については、伝達確認表により確認をしている。</p>	

平成20年度医療安全推進室員会議

会議名	開催日	参加人数	開催時間	主な検討議題等
室員会議	4月10日(木)	18人	17:00~19:00	1. 今年度の医療安全推進室活動方針案 2. 医療安全推進室ワーキンググループの活動計画案 3. 各WG活動報告 4. 検討事項(★医療安全全国共同行動への参加について ★フリップス社心電図モニターの時刻同期について ★食事への異物混入防止対策 ★患者認証システムの導入について ★モニターアラーム対応の検証 ★医療機器立会規制に対する対応 ★人工呼吸器中央管理開始について 5. インシデント報告(個別インシデント事例含む)
室員会議	5月8日(木)	15人	17:03~20:05	1. WGからの報告(教育・インシデント・医薬品・医療機器) 2. 報告事項(全国医療安全共同行動について) 3. 検討事項(BiPAP Visionを用いたNPPV使用の取り決め、腕時計型ナースコールについてなど) 4. インシデント報告(個別インシデント事例含む)
室員会議	6月5日(木)	17人	17:03~18:35	1.各WGの報告 2.検討事項(★医療安全全国共同行動エントリー項目の決定) 3.報告事項(院内心肺蘇生報告集計、待機DC説明同意文書の完成など) 4.インシデント報告(個別事例含む)
室員会議	7月7日(月)	16人	16:38~18:20	1. 各WGの報告 2. 全国共同行動取り組みの報告 3. 報告事項(セントラルモニターアラーム調査結果について) 4. 検討事項(★造影CT検査時の説明文書の検討 ★Bipap Visionを用いたNPPV使用に関する取り決め(案)の検討) 5. インシデント(個別インシデント事例含む)
室員会議	8月7日(木)	14人	17:00~18:20	1. WGの活動報告(教育・カルテ指示・インシデント・医療機器) 2. 報告事項(事故報告事例、BiPAP Visionを用いたNPPV使用の取り決め完成など) 3. 全国医療安全共同行動について 4. 検討事項(ペミロック安全使用法、センター採用薬品以外の薬剤禁忌登録方法について) 5. インシデント報告(個別事例含む)
室員会議	9月4日(木)	16人	17:05~18:45	1. WGの活動報告(教育・カルテ指示・インシデント・医療機器) 2. 事例検討会(事故報告、医療監視) 3. 医療安全全国共同行動の活動 4. インシデント報告(個別事例含む)
室員会議	10月2日(木)	15人	17:00~18:20	1. WGの活動報告(教育・カルテ指示・インシデント・医療機器) 2. 報告事項(プリオン感染予防ガイドライン(要約)の職員への周知、人事異動) 3. 医療安全全国共同行動 4. 医療安全推進室からのお知らせ 5. インシデント報告(個別事例含む)
室員会議	11月6日(木)	19人	17:04~18:10	1. 各WGの活動報告(教育・インシデント・医療機器) 2. 全国医療安全共同行動 3. 報告事項(人事異動) 4. 検討事項(DCで経皮ペースングを行う際のペースメーカーパルスのON/OFF設定についてなど) 5. 事例検討会報告 6. インシデント・アクシデント報告(個別事例含む)
室員会議	12月4日(木)	19人	17:00~18:10	1. 各WGの報告(教育・医薬品・インシデント・医療機器) 2. 全国医療安全共同行動 3. 報告事項(人事異動、センターのインシデント報告システムの会社が倒産、情報提供など) 4. 検討事項(★メイヨークリニック麻酔科教授によるCVC挿入と静脈内留置中の管理についての講演会の開催について、★転倒転落防止のための患者家族向けDVDの購入と活用について) 5. インシデント・アクシデント報告(個別事例含む)
室員会議	1月8日(木)	17人	17:00~18:00	1. WGの活動報告(教育・インシデント・医療機器) 2. 医療安全全国共同行動 3. 医療安全推進指針(マニュアルの第13次改訂作業について) 4. 事例検討会報告(重症患者への誤薬(カテコラミン)インシデントの説明について) 5. インシデント報告
室員会議	2月5日(木)	16人	17:05~18:35	1. 各WGの活動報告(教育・インシデント・医療機器) 2. 報告事項(第2回植え込み型補助人工心臓事例調査委員会あり、カルテ記載が不十分と指摘された、ご案内など) 3. 検討事項(★次年度全職員対象医療安全講習会について) 4. インシデント・アクシデント報告(個別事例含む)
室員会議	3月4日(水)	17人	17:08~18:40	1. 各WGの活動報告(教育・インシデント・医療機器) 2. 検討事項(★H21年度新レジデント・専門修練医への医療安全オリエンテーション) 3. 報告・連絡事項(院内心肺蘇生事例分析、第6回植え込み補助人工心臓事例調査委員会など) 4. インシデント・アクシデント報告(個別事例含む)

平成20年度医療安全推進検討部会(医一・二部会)

会議名				
医療職(一)(二)部会	4月14日(月)	28人	17:05~17:40	1. 今年度の医療安全推進室活動方針案 2. 医療安全推進室ワーキンググループの活動計画案 3. 各WG活動報告 4. 検討事項(★医療安全全国共同行動への参加について ★フリップス社心電図モニターの時刻同期について ★食事への異物混入防止対策 ★患者認証システムの導入について ★モニターアラーム対応の検証 ★医療機器立会規制に対する対応 ★人工呼吸器中央管理開始について 5. インシデント報告(個別インシデント事例含む)
医療職(一)(二)部会	5月12日(月)	28人	17:00~18:00	1. WGからの報告(教育・インシデント・医薬品・医療機器) 2. 報告事項(全国医療安全共同行動について) 3. 検討事項(BiPAP Visionを用いたNPPV使用の取り決め、腕時計型ナースコールについてなど) 4. インシデント報告(個別インシデント事例含む)
医療職(一)(二)部会	6月9日(月)	28人	17:05~17:45	1.各WGの報告 2.検討事項(★医療安全全国共同行動エントリー項目の決定) 3.報告事項(院内心肺蘇生報告集計、待機的DC説明同意文書の完成など) 4. インシデント報告(個別事例含む)
医療職(一)(二)部会	7月14日(月)	28人	17:00~18:00	1. 各WGの報告 2. 全国共同行動取り組みの報告 3. 報告事項(セントラルモニターアラーム調査結果について) 4. 検討事項(★造影CT検査時の説明文書の検討 ★Bipap Visionを用いたNPPV使用に関する取り決め(案)の検討) 5. インシデント(個別インシデント事例含む)
医療職(一)(二)部会	8月11日(月)	20人	17:00~17:40	1. WGの活動報告(教育・カルテ指示・インシデント・医療機器) 2. 報告事項(事故報告事例、BiPAP Visionを用いたNPPV使用の取り決め完成など) 3. 全国医療安全共同行動について 4. 検討事項(★センター採用薬品以外の薬剤禁忌登録方法について) 5. インシデント報告(個別事例含む)
医療職(一)(二)部会	9月12日(金)	28人	17:00~17:45	1. WGの活動報告(教育・カルテ指示・インシデント・医薬品・医療機器) 2. 報告事項(事例検討会・医療監視) 3. 全国医療安全共同行動について 4. インシデント報告(個別事例含む)
医療職(一)(二)部会	10月14日(火)	30人	17:00~18:00	1. WGの活動報告(教育・カルテ指示・インシデント・医療機器) 2. 報告事項(プリオン感染予防ガイドライン(要約)の職員への周知、人事異動) 3. 医療安全全国共同行動 4. 医療安全推進室からのお知らせ 5. 立ち入り検査時の指導事項への対応 6. インシデント報告(個別事例含む)
医療職(一)(二)部会	11月10日(月)	32人	17:00~17:50	1. 各WGの活動報告(教育・インシデント・医療機器) 2. 医療安全全国共同行動 3. 報告事項(人事異動) 4. 事例検討会報告 5. インシデント・アクシデント報告(個別事例含む)
医療職(一)(二)部会	12月8日(月)	26人	17:10~17:50	1. 各WGの報告(教育・医薬品・インシデント・医療機器) 2. 医療安全全国共同行動 3. 報告事項(人事異動、センターインシデント報告システムの会社が倒産など) 4. インシデント・アクシデント報告(個別事例含む)
医療職(一)(二)部会	1月13日(火)	24人	17:00~18:10	1. 各WGの活動報告(教育・インシデント・医療機器) 2. 医療安全全国共同行動 3. 医療安全推進指針・マニュアルの第13次改訂作業について 4. 事例検討会報告(重症患者への誤薬(カテコラミン過小投与)インシデントと状態悪化の因果関係の検証と患者家族への説明について) 5. インシデント・アクシデント(個別事例含む)
医療職(一)(二)部会	2月10日(火)	24人	17:30~18:15	1. 各WGの活動報告(教育・インシデント・医療機器) 2. 報告事項(第2回植込み型補助人工心臓事例調査委員会あり、カルテ記載が不十分と指摘された。第3回では、医療関係者のヒアリングが実施された。など) 3. インシデント・アクシデント報告(個別事例含む)
医療職(一)(二)部会	3月9日(月)	31人	16:00~16:30	1. 各WGの活動報告(教育・インシデント・医療機器) 2. 検討事項(★H21年度新レジデント・専門修練医への医療安全オリエンテーション) 3. 報告・連絡事項(院内心肺蘇生事例分析、第6回植込み型補助人工心臓事例調査委員会など) 4. インシデント・アクシデント報告(個別事例含む)

平成20年度医療安全推進検討部会(医三部会)

会議名	開催日	参加人数	開催時間	主な検討議題等
医療職(三)部会				
医療職(三)部会	5月13日(火)	25人	14:00~15:00	1.委員の自己紹介と抱負 2.委員長より年間計画についての説明 3.高田医療安全管理者より(医一二部会伝達) 4.岡田看護副部長より 5.講義:RMの役割と医療安全 6.その他(★PVCフリーの三方活栓付き閉鎖式輸液ラインの検討依頼:中材師長より)
医療職(三)部会	6月12日(木)	25人	14:00~15:00	1.高田医療安全管理者より(医一二部会伝達) 2.医療安全推進室「医薬品WGより」 3.病棟リスクラウンド 4.岡田副看護部長より
医療職(三)部会	7月10日(木)	25人	14:00~15:00	1.講義:インシデントや急変時などの看護記録のあり方 2.高田医療安全管理者より(医一二部会伝達) 3.岡田副看護部長より
医療職(三)部会	8月14日(木)	25人	14:00~15:00	1.6月リスクラウンド結果より考察・対策の発表 2.高田医療安全管理者より(医一二部会伝達、最近のインシデント事例) 3.岡田副看護部長より 4.インシデントに関する看護記録の実態調査
医療職(三)部会	9月11日(木)	25人	13:45~15:00	1.メーカー大研よりフィットフィックス吸引の使用上の説明 2.病棟リスクラウンド 3.高田医療安全管理者より 4.石田委員長より
医療職(三)部会	10月14日(火)	23人	14:00~15:00	1.第2回ラウンド結果報告と今後の対策について 2.インシデント記録の実態調査の結果報告と今後の方針について 3.グループディスカッション 4.石田委員長より 5.高田専任リスクマネージャーより
医療職(三)部会	11月13日(木)	25人	14:00~15:00	1.メンバー変更 2.動脈圧ライン接続について 3.胃チューブの位置確認方法について 4.各ワーキンググループから経過報告 5.インシデントは発生時の記録ガイドラインの検討 6.高田医療安全管理者より 7.岡田副看護部長より
医療職(三)部会	12月11日(木)	25人	14:00~15:00	1.各グループからの報告 2.胃管チューブの位置確認について 3.患者誤認予防強化月間の取り組み報告 4.石田委員長より 5.高田GRMより
医療職(三)部会	1月15日(木)	25人	14:00~15:00	1.患者様用「転倒転落予防に関するDVD」について 2.インシデント発生時の記録のガイドライン・記載事例について 3.経鼻栄養チューブ実態調査の結果について 4.各グループからの報告 5.石田委員長より 6.高田GRMより
医療職(三)部会	2月12日(木)	25人	14:00~15:00	1.患者確認病棟ラウンドの結果報告と対策の検討 2.看護手順の見直し 3.今年度の各グループの活動報告 4.石田委員長より 5.岡田副看護部長
医療職(三)部会	3月12日(木)	25人	14:00~15:00	1.ライン・ドレーングループよりまとめの追加について 2.石田師長委員長より 3.次年度の活動計画について意見交換 4.高田GRMより 5.岡田副看護部長より

平成20年度医療安全推進委員会

会議名	開催日	参加人数	開催時間	主な検討議題等
医療安全推進委員会	4月21日(月)	12人	16:00～16:50	1. 今年度の医療安全対策活動方針案 2. WG活動報告(教育・医療機器) 3. 伝達事項 4. 検討事項(全国医療安全共同行動参加について) 5. インシデント報告(個別事例含む)
医療安全推進委員会	5月19日(月)	14人	17:00～18:30	1. WGからの報告(教育・インシデント・医薬品・医療機器) 2. 報告事項(全国医療安全共同行動について) 3. 検討事項(外来検査確認画面の工夫、新患&緊急OP患者の輸血オーダー方法など) 4. インシデント報告(個別事例含む)
医療安全推進委員会	6月25日(水)	12人	18:00～18:40	1.各WGの活動報告 2.報告事項(院内心肺蘇生報告集計結果、待機的DC説明同意文書完成と使用方法、全国医療安全共同行動について) 3.事例検討会・事故報告書提出の報告 4.インシデント報告(個別事例含む)
医療安全推進委員会	7月22日(火)	12人	11:00～11:55	1. 各WGの報告 2. 全国医療安全共同行動について 3. 報告事項(RM辞令、セントラルモニターアラーム調査結果など) 4. 検討事項(造影CT説明同意文書、Bipap Visionを用いたNPPV使用の取り決めなど) 5. インシデント(個別事例含む)
医療安全推進委員会	8月15日(金)	13人	17:05～17:35	1. WGの活動報告(教育・カルテ指示・インシデント・医療機器) 2. 報告事項(事故報告書提出、対策実行インシデントなど) 3. 全国医療安全共同行動 4. 検討事項(センター採用薬品以外のアレルギー登録方法について) 5. インシデント報告(個別事例含む)
医療安全推進委員会	9月17日()	12人	16:35～17:00	1. 各WG活動(教育・カルテ指示・インシデント・医薬品・医療機器) 2. 報告事項(事故報告、医療監視) 3. 医療安全全国共同行動の活動 4. インシデント報告(個別事例含む)
医療安全推進委員会	10月21日(火)	16人	17:00～17:40	1. 各WGからの報告(教育・カルテ指示・医薬品・インシデント・医療機器) 2. 報告事項(プリオン感染予防ガイドライン(要約)の職員への周知、人事異動など) 3. 医療安全全国共同行動 4. 医療安全推進室からのお知らせ 5. インシデント・アクシデント報告(個別事例含む)
医療安全推進委員会	11月18日(火)	14人	17:00～17:50	1. 各WGの活動報告(教育・インシデント・医療機器) 2. 全国医療安全共同行動 3. 報告事項(人事異動、上半期インシデント基本集計) 4. 事例検討会報告 5. 医療安全推進室から 5. インシデント・アクシデント件数(個別事例含む)
医療安全推進委員会	12月15日(月)	15人	16:00～16:50	1. 各WGの報告(教育・医薬品・インシデント・医療機器) 2. 全国医療安全共同行動 3. 報告事項(人事異動、センターのインシデント報告システムの会社が倒産、情報提供) 4. 検討事項(入院中の転倒転落防止のために患者家族への啓発) 5. インシデント・アクシデント報告(個別事例含む)
医療安全推進委員会	1月21日(水)	15人	17:00～17:35	1. WGの活動報告(教育・インシデント・医療機器) 2. 医療安全全国共同行動 3. 報告事項(医療安全推進指針・マニュアルの第13次改訂作業について、第1回植込み型補助人工心臓事例調査委員会、医療機能評価機構及び国病課への事故報告書提出) 4. 事例検討会報告(重症患者への誤薬(カテコラミン)インシデントの説明について) 5. インシデント・アクシデント(個別事例含む)
医療安全推進委員会	2月18日(水)	14人	15:30～16:35	1. 各WGの活動(教育・インシデント・医療機器) 2. 報告事項(第2回植え込み型補助人工心臓事例調査委員会あり、カルテ記載が不十分と指摘された。第3、5回では、医療関係者のヒアリングが実施された。第4回では、ご遺族・前院へのヒアリングが行われた) 3. 検討事項(医療安全推進指針改定案(別冊)、事例検討会の議事録を作成することについて) 4. インシデント・アクシデント報告(個別事例含む)
医療安全推進委員会	3月16日(月)	15人	16:00～16:55	1. 各WGの活動報告(教育・インシデント・医療機器) 2. 報告・連絡事項(院内心肺蘇生事例分析、第6回植込み補助人工心臓事例調査委員会、H21年度新レジデント・専門修練医への医療安全オリエンテーションなど) 3. 検討事項(生命維持装置に関するトラブルの場合、機器の点検をどこで行うのか、合同採用時研修の実施についてなど) 4. インシデント・アクシデント報告(個別事例含む)

9. 患者からの相談への対応に関する基本方針

患者等から診療内容に関する意見や要望、医療安全に関する相談に応じられる体制を確保するために、医事課受付に医療安全相談窓口を設置する。医療安全相談窓口に関しては、本指針の5. 医療安全管理体制の5)医療安全相談窓口の項参照。

10. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針

1)医療事故等発生時の報告ルート

★医療に係る事故の範囲

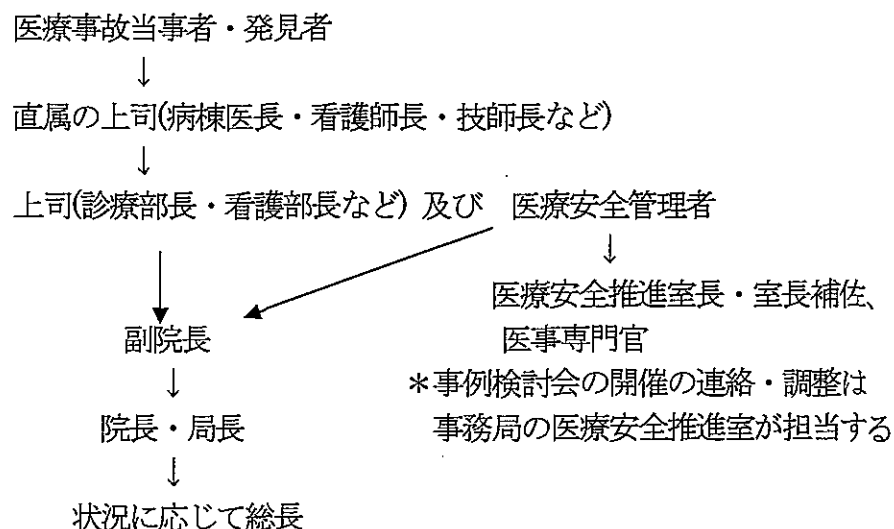
- ①明らかに誤った医療行為又は管理に起因して、患者が死亡し、若しくは患者に障害が残った事例又は濃厚な処置若しくは治療を要した事例
- ②明らかに誤った医療行為又は管理は認められないが、行った医療行為又は管理上の問題に起因して、患者が死亡し、若しくは患者の心身に障害が残った事例又は濃厚な処置若しくは治療を要した事例(医療行為又は管理上の問題に起因すると疑われるものを含み、当該事例の発生を予期しなかったものに限る。)
- ③上記①②にあげるもののほか、医療機関内における事故の発生の予防及び再発防止に資すると認める事例

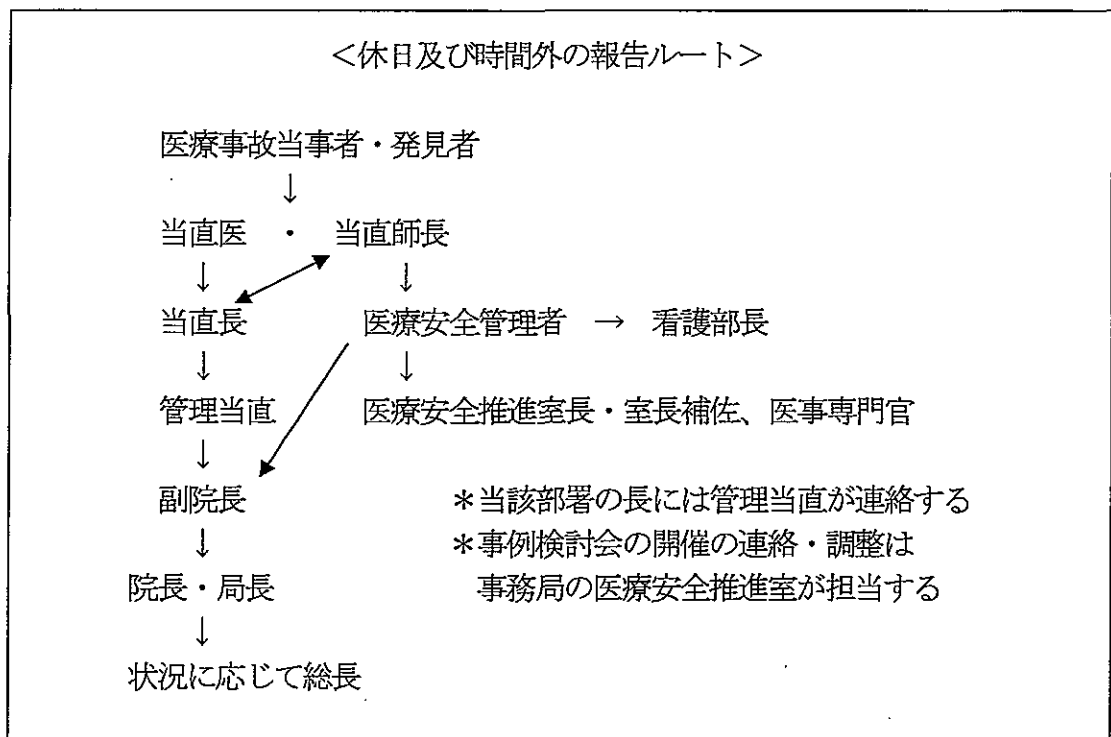
【具体例】

- ・移植に伴う未知の感染症
- ・遺伝子治療による悪性腫瘍
- ・汚染された薬剤、材料、生物由来材料の使用による事故
- ・間違った保護者の元への新生児の引き渡し
- ・説明不足により、患者が危険な行為をおかした事例
- ・入院中の自殺または自殺企図
- ・患者の逸脱行為による転倒、転落、感電等

上記の事例若しくはその可能性がある場合は、直ちに上司に報告する。その医療行為に使用した器具・器材・検体などは保存し、医療安全管理者へ提出する。

<平日時間内の報告ルート>





2)医療事故等発生時の現場の対応の原則

(1) 事実経過の記録

- ①患者の状況、処置の内容、患者及び家族への説明内容などを診療録に詳細に記録する
- ②記録にあたっては、日時・記載者名を明確に記入し、経時的に記載する
- ③事実を客観的かつ正確に記載する(想像や憶測に基づく記載をしない)

(2) 患者家族への対応と説明

- ①家族に対しては誠心誠意治療に専念すると共に、患者及び家族に対しては誠意をもって事故の説明等を行う
- ②患者及び家族に対する事故の説明等は、原則として、医長以上の者が対応することとし、その際、病状などの詳細な説明ができる担当医が同席する。尚、状況に応じ、医療安全管理者、病院の幹部責任者等も同席して対応する。
- ③明らかになっている事実のみを説明し、想像や憶測は述べない

3)医療事故等発生時に必要な情報

- (1)事故の概要：いつ、どこで、何が起こったのか
- (2)患者の状態
- (3)患者家族への説明状況

4)院内での検討会—院内事例検討会—

行った医療行為または管理が誤っているか明らかでない場合は、まず院内事例検討会にて事例の分析・検討を行う。その過程で、病院長が、医療事故調査・対策委員会での検討が妥当と判断した場合は、直ちに医療事故調査・対策委員会に引き継ぐ。

5)医療事故調査・対策委員会

- (1)設置基準

重大事故が発生した場合(重大事故とは、★医療に係る事故の範囲①を指す)と院内事例検討会で設置が必要と判断された場合

(2)目的・役割

当該医療事故の原因究明及びその原因分析から得られた再発防止策を策定し、医療事故の再発を防止する。また、原因究明、事実経緯や再発防止策について患者・家族に対する説明責任を果たす。

(3)構成委員

医療安全推進委員＋外部委員

外部委員には、当該医療事故に関する医療の専門家、患者側及び医療側代理人の弁護士を任命する。

調査手続きの公正さと透明性の確保のため、当該医療事故に関与した医療従事者及びその所属の診療科の医療者は、委員会メンバーに含めない。

(4)開催の時期

当該医療事故発生から速やかに開催することが望ましく、1週間以内に第1回委員会を開催する

(5)調査・分析・再発防止策の提言・報告

医療安全推進室が事務局となり、資料の確認や配布、毎回の議事録を作成・保管する。

原因究明のために事実経緯の確認、システム、連携、マニュアル、勤務状況・体制など種々の側面からの情報の分析を行う。

事故調査・対策委員会で一定の結論が出れば、調査報告書としてまとめる。

(6)患者家族への対応

医療事故発生後、速やかに自発的に事故調査に対する患者家族の意向を尋ねる。また、毎回の事故調査・対策委員会の後で、調査の進捗状況や見通しを患者家族に説明する。

調査報告書の写しを患者家族にも交付する。公表にあたっては患者家族の同意を得てから行う。

(7)各関係機関への報告

＜厚生労働省・日本医療機能評価機構への報告を要する医療事故の範囲＞

1. 誤った医療行為または管理を行った事が明らかであり、その行った医療または管理に起因して、患者が死亡若しくは心身の障害が残った事例または予期しなかった・予期していたものを上回る処置その他の治療を要した事例
2. 誤った医療行為又は管理を行ったことは明らかではないが、行った医療又は管理に起因して、患者が死亡若しくは心身の障害が残った事例または予期しなかった・予期していたものを上回る処置その他の治療を要した事例(行った医療又は管理に起因すると疑われるものを含み、当該事案発生を予期しなかったものに限る)
3. 医療機関内における事故の発生の予防及び再発防止に資する事案

①厚生労働省：医療事故報告書(様式4)を速やかに国立病院課に報告する。報告後、国立病院課の指示に従う。

- ②近畿厚生局：厚生労働省国立病院課への報告と同内容
- ③日本医療機能評価機構：日本医療機能評価機構医療事故入力シート(様式5)に記入し、速やかに医療安全管理者に提出する。発生した日より原則として2週間以内に報告する。
- ④吹田保健所：厚生労働省国立病院課への報告と同内容
- ⑤警察：医療過誤によって死亡又は障害が発生したことが明白な場合は、総長は速やかに所轄警察署に届け出を行う。届け出を行う場合は、事前に患者・家族に説明を行う。総長は、届け出内容を厚生労働省国立病院課へ報告する。また、死亡又は障害が発生し、医療過誤の疑いがある場合または届け出の判断が困難な場合は、届け出について厚生労働省国立病院課と協議して指示に従う。

(8)公表の基準

報道機関に対する医療事故等の発生の公表の判断は、院長が行う。公表の基準は別紙4参照。

6)職員への周知の方法

- (1)重大な医療事故が発生し、マスコミへの公表を行う場合は、事前に臨時診療管理連絡会議を召集し、事故の概要・センターの対応を説明し、職員への周知を行う。
- (2)医療事故調査委員会による調査報告書も同様に診療管理連絡会議を開催し、その場で院長より説明を行う。
- (3)事例検討会の報告は、概要・対策について医療安全管理者より診療管理連絡会議・医療安全推進担当者会で行う。

7)当事者へのメンタルケア

医療事故により重大な結果を招いた場合の当事者は、自責の念を抱き、更に周囲の反応による影響などから、精神的にも不安・混乱状態に陥る可能性が高い。そのため、十分な配慮及びサポートが必要である。メンタルケアは、同僚・上司・病院幹部全ての職員がそれぞれの立場で行うものである。

- ①同僚は、共に働いている者として最も共感者となりうる立場にいる。支え合うことでチームとして体験を受け止め乗り越えていくことができる。
- ②上司・病院幹部による助言は、当事者にとって大きな支えとなる。直接の上司は、当事者とよく話し合い、当事者にとって心身の緊張を緩和できるような勤務態勢・内容に配慮を行う。
- ③施設としては、法的な諸問題や専門家によるカウンセリングを受ける機会を設ける
- ④医療安全管理者は、職場長と連携し、当事者に事実を伝え、当事者がとるべき対応について助言する。
- ⑤当事者の精神的動揺が激しい場合は、家族のサポートが有効な場合があるので、本人の了解を得て家族にもサポートを依頼する。
- ⑥事故当事者のプライバシー保護も重要であり、調査報告書の提示や職員への通知時など個人が特定できないようにする。

平成20年度医療安全確保のための取り組み <全体>

月	WG				職員研修・情報発信 他	体制・室活動など
	教育・啓発・広報	カルテ指示確認	ME	インシデント対策・評価		
4	医療安全推進ニュース発行No.28	新採用レジデント・専門修練医へのカルテ指示記載の講義+	VCT50不具合対応: 電圧低下アラームの実験	食事への異物混入防止対策の検討	・医療安全講義(新採用看護師、レジデント、専門修練医)	・重篤者回診6例
			人工呼吸器中央管理開始にむけた準備	カテコラミルートの交換時のインシデント防止対策の検討	・医療安全演習(新採用レジデント・専門修練医・新採用看護師)	・事例検討会3例
			医療機器立会規制開始に関する確認	周産期ガーゼ遺残再発防止策検討	・医療安全情報(No15.16)発信	・院内心肺蘇生報告事例の情報収集
			人工呼吸器使用中の停止事例への対応	セントラルモニター電源コンセントの調査	異動師長への医療安全オリエンテーション	・循環器疾患看護研究財団助成申請
			心電図モニター送信機(日本光電)番号点検	パラマウントベッドサイドレールのストップ交換	サーボ講習会	・医療安全全国共同行動参加についての話し合い
			セントラルモニター(フィリップス)の時刻同期システム導入	病院出入り業者と患者の院内接触事故に対する対応		モデル事業事例の遺族との対応
			医療機器管理台帳作成			不具合対応:6
						患者相談窓口・クレーム対応:5 医療事故調査委員会規程の話し合い
5	全職員対象医療安全講習会企画	周産期におけるカルテ指示記載方法の話し合い	VCT50電圧低下アラームの機能付加	造影CTと待機DCの説明同意文書の検討	・超音波ガイド下中心静脈穿刺講演会	・重篤者回診14例
	インシデント事例をふまえて、医二対象に医療技術演習の心カテトレーニングプログラム実施報告の提出催促	5Eにおけるワーファリン指示記載の徹底	セントラルモニター電源コンセントの位置確認	腕時計型浴室緊急コールシステム使用基準の検討	・医療安全情報(No17.18)発信	第27回ヒヤリハット収集事業報告送付
			医療機器不具合対応:2	Bipap Vision使用時の安全性の検討	・サーボ講習会	・院内心肺蘇生報告事例の情報収集
			心電図モニターレポート接続システムの説明会	KCL注射箋記載時の単位調査と記載単位の決定「mEq」	・現任教育医療安全の確保I講義・演習(新採用看護師)	新棟建て替え整備検討
			シリンジポンプバッテリー消耗調査(CCU、乳幼児、5E、周産期)	新患&緊急OP&輸血事例のオーダー方法の検討	「医三RM講義「リスクマネージャーの役割」	医療安全全国共同行動キックオフフォーラム参加
						患者相談:家族控え室に伝言ボード設置要望の検討
						モデル事業事例の遺族からの再質問状の回答送付
						不具合対応:2 患者相談窓口・クレーム対応2 クリティカルケア看護学会発表
6	大腿動脈穿刺モデル人形試作品の検討	カルテ説明記録実態調査用紙の検討	HD機器(NGU12)不具合報告の対応、不具合報告書の提出	心カテオーダー時インシデント再発防止策の決定:削除ボタンの位置変更		・重篤者回診10例
	大腿動脈穿刺トレーニング実施方法の検討:福田医師		サーボ:使用前チェックリストの改訂	ラポナール血管外漏出事例:危険薬のポスター作成・配布	医三RM学習会「インシデントや急変時などの看護記録」	・事例検討会4例
			IABP不具合結果報告バルン拡張時間に関連したプログラムパーツの交換を実施	腕時計型浴室緊急コールシステム導入(9W、8E、7E、7W、5W、CCU、ER)	・医二技術研修「輸液ポンプ・シリンジポンプアラーム対応」、『急変対応とBLS演習』	医療安全推進マニュアル共通項目追加資料配布(浴室における安全体制)、腕時計型緊急コールシステムの配備
			人工呼吸器中央管理委員会	滅菌手袋にハエの死骸混入に対する対応:メーカー改善計画および実施状況の		微量採血用具の安全性の確認:針周辺毎交換品以外の製品の撤廃
						微量採血用具の不適切使用に関する調査報告書提出
						不具合対応:2
				待機DC説明同意文書使用開始	H19年度の看護師が関連した医療事故報道に関する情報提供	H19年度看護部5大インシデント集計結果 医三リスクラウンド

月	WG				職員研修・情報発信 他	体制・室活動など
	教育・啓発・広報	カルテ指示確認	ME	インシデント対策・評価		
					循環器病看護に従事する看護師の研	・管内特定機能病院 連絡会議幹事会 近畿特定機能病院 医療安全グループ別 会議：幹事病院 H19年院内心肺蘇生 報告集計の報告 臨時感染対策委員 会：百日咳感染に対 する対応 患者相談窓口・ク レーム対応4件 新棟建て替え整備検
7	推進ニュース発行 No.29	手術・カテ・緊急入院 患者の説明記録の 実態調査	MEセンター開所&開 所式	造影CT説明同意文 書の検討	医療安全情報 (No19)発信	重篤者回診10例
	医二医療技術演習 「BLS研修」アンケ ートの実施		人工呼吸器中央管 理開始	Bipap Vision使用時 の取り決め案検討	医二技術演習『急変 対応とBLS演習』	日本循環器学会アン ケート回答：カテ庄ト ランスデューサー
	医療訴訟ガイダンス 「看護師等と訴訟」講 演会		パラマウントベッドの ネジ外れ：総点検依 頼	イソジンアレルギー の禁忌登録方法の 検討	現任教育医療安全 の確保Ⅱ講義・演習 (新採用看護師)	・院内心肺蘇生報告 事例の情報収集
			HD機器(NCU11)不具 合報告の対応	イソジンアレルギー 患者に対する造影検 査実施について検討	医二技術演習『移動 技術』	セントラルモニターア ラームの実態調査結 果報告
				髄液検査提出時の 間違い対策：1検体1 ラベルに変更	患者預かり物の紛失 事例あり、預かり物 の管理の徹底を周知	哺乳瓶「ビスフェノ ールA」対応：健康被害 の報告有り、安全な 製品への切り替え
				サーボ使用方法間 違い：検討プロジェク トチーム結成	哺乳瓶製剤「ビスフェ ノールA」に関する安 全性情報の発信	患者相談窓口・ク レーム対応4件
					情報提供：脳内科の インシデント・アクシ デントについて	近畿特定機能病院 連絡会議
						医三看護記録実態 調査
						新棟建て替え整備検
						インシデント報告シス テムの一部変更：レ ベル5段階、報告部
						臨時安全・感染合同 対策委員会・CADD ポンプカセット細菌汚 染の疑いについて 全国医療安全共同 行動エントリー
						医療事故報告2例
8	全職員対象医療安 全講習会のテーマ・ 講師・日程の決定	説明記録に関するカ ルテラウンド&結果 報告	パラマウントベッド総 点検520台実施計画 立案	外来採血結果確認 画面の表示変更(本 日分を赤色で強調) 放射性皮膚炎	気切チューブと外部 回路の輪ゴム固定の 廃止 医療安全情報 (No20)発信	・重篤者回診9例 センターのインシデ ント・アクシデント データ集計
				酸素ポンプ残量確認 徹底ポスター：RI	入院サマリーの医師 名表示を5文字に拡 大：医師の同姓者の 区別化	第28回ヒヤリハット報 告収集事業提出
						CADDポンプカセット汚 染：保健所からヒアリ ング、近畿厚生局に 不具合提出
						・医療安全推進マ ニュアル共通項目追 加資料配布(Bipap Vision使用時の取り ・事例検討会9例
						不具合対応：2
						患者相談窓口・ク レーム対応2件

月	WG				職員研修・情報発信 他	体制・室活動など		
	教育・啓発・広報	カルテ指示確認	ME	インシデント対策・評価				
9	第1回全職員対象医療安全講習会「大規模災害時における循環器病専門病院の医長安全推進ニュース発行No.30	OP・カテ説明記録、緊急入院時の説明記録のラウンド結果報告	輸液ポンプ更新の検討	他院での死亡事例より、酸素流量計が接続できる二酸化炭素ガスボンベの変圧器	医療安全情報(No21)発信	・事例検討会3例		
					文字の判読間違いでワーファリンを過剰に投与と事例あり	大腿動脈穿刺トレーニング	・重篤者回診11例	
				パラマウントベッド総点検:異常なし	HIT/HITS患者の薬剤マニュアル変更		近畿厚生局と吹田保健所の立入検査	
				気管内吸引方法の検討	FITFIXメンテナンス実施		医三部会リスクラウンド	
							患者相談窓口・クレーム対応2件	
10	全職員対象講習会実施 NPPV講習会実施	説明記録ラウンドの結果をうけて、脳内科ではアンギオ同意説明文書改訂中 急変時記録の検討:看護部記録委員会	FITFIX(吸引器)誤接続防止対策実施	薬剤禁忌登録システムの改訂検討	医療安全情報(No22、23)発信	・院内心肺蘇生報告事例の情報収集		
				日本光電セントラルモニター不整脈解析アルゴリズムバージョンアップ実施	中央エレベーター停止事例の検証	採用インスリン製剤一覧表配布	人事異動	
				人工鼻と加温加湿器の併用禁忌について添付文書自主点検の通達あり				院内心肺蘇生報告事例の情報収集
				安全管理体制検討				・重篤者回診10例
				セントラルモニター時刻同期作業実施:フリップス社				・事例検討会2例
11	全職員対象医療安全講習会DVD上映会		モバート使用中の駆動停止事例あり、メーカーに点検依頼	DCで経皮ペースティングを行う時の確認ポイント	医療安全推進ニュース発行No.31	人事異動		
					イレウスチューブ挿入後の腸重積事例に対する消化器専門医への相談、注意点	カテーテルシミュレーターデモストレーション	医療の質・安全学会発表	
					Aラインルート作成統一の検討	医療安全週間ポスター掲示	大腿動脈穿刺モデルの購入検討	
							医療安全推進マニュアル差し換え「指示」	
							患者相談窓口・クレーム対応11件	
12	医療安全講習会アンケート結果報告 第2回全職員対象医療安全講習会:自治医大付属シミュレーションセンター長 河野龍太郎先生		モバート不具合の調査結果:アラーム機能を付加	医一事例、医三事例、患者間違い事例あり	近畿厚生局主催医療安全ワークショップに参加	・人事異動		
				日本光電DC(TEC7600シリーズ)他院で、デマンドモードでペースティングのスタートストップキーが聞かない事例あり	移植後患者の遺伝子検査の誤判定	情報提供:電気メスをういた気管切開に関する注意	センターのインシデント報告システムの会社が倒産	
							・事例検討会1例	
							・重篤者回診9例	
							患者相談窓口・クレーム対応6件	
1	全職員対象医療安全講習会企画		人工呼吸器中央管理開始後、初の大型連休への対応	文書受付方法の案内統一の検討		不具合対応:2		
			人工呼吸器中央管理開始後6ヶ月後の評価と課題検討をWGメンバーで行う予				救急カート内薬品点検ラウンド開始	
			バッテリー未搭載のVIP BIRDに外付けバッテリーを搭載	転倒転落防止のための患者家族用教育ビデオの検討	医療安全情報(No24、25)発信	医療安全推進マニュアル13次改訂計画		

月	WG				職員研修・情報発信 他	体制・室活動など
	教育・啓発・広報	カルテ指示確認	ME	インシデント対策・評価		
			シリンジポンプ更新計画	文書受付方法の案内統一のTV放映内容の検討		移植患者の遺伝子検査検体取り違えの取材:朝日・読売
			PCPSガスラインの接続間違い防止:チェックリストの改訂	入院生活案内のTV放映修正点		救急カート内薬品点検ラウンド
				看護手順差し換え:輸血		植込み型補助人工心臓治療症例に関する調査委員会の活動
				MR室磁性体持ち込み禁止(Jバック)の		・重篤者回診10例
						患者相談窓口・クレーム対応4件
2	医療安全講習会&D VD上映会実施		モバートへの新ソフトプログラム搭載完了、使用再開	検体取り違い再発防止策、機器メーカーと話し合い	パネルディスカッション「重症脳卒中急性期における宗教的輸血拒否への応」図書	第2回植込み型補助人工心臓事例調査委員会あり、カルテ記載が不十分と指摘
	次年度の全体講習会について検討		モバート再停止	ガーゼ遺残に関する(財)医療機能評価機構からの問い合わせ対応	「エコーガイド下中心静脈穿刺のコツとポイント」ハンズオンセミナー「NTTコミュニ	Ai名称変更について
			NVCV医療機器保守管理指針に掲載している医療機器のH20年度保守点検実術中人工心肺停止		医療安全情報(No26)発信	検体取り違い事例:新聞報道に対する見解と連絡
					テルモ輸液ポンプTE161流量異常発生のお知らせ配布	心電図モニターアラームの関するインタビュー:日本看護協
						植込み型補助人工心臓治療症例に関する調査委員会の活動
						・事例検討会2例
						・重篤者回診11例
						患者相談窓口・クレーム対応7件
						不具合対応:2
						循環器病診療に従事する看護師研修講
						心肺蘇生記録用紙の検討
3	医療安全推進ニュース発行No.32		モバート駆動停止のため使用停止	検査予定確認のための一覧表を「全病棟」をデフォルトにすることを検討	安全な看護ケア講習会	院内心肺蘇生事例分析
	H21新採用者採用時研修計画		ペースメーカー立会規制に関する検討	食事や痰などによる窒息や誤嚥により状態が悪化するという事例がある		・事例検討会2例
				医療事故報告に対する近畿厚生局の調査		患者クレームに対する対応について弁護士に相談
			術中の人工心肺の停止	入院中の書類に関する患者用TVと入院案内の内容の食い		医療安全推進室マニュアル第13次改訂
				転倒転落防止のための患者用教育		植込み型補助人工心臓治療症例に関する調査委員会の活動
						・重篤者回診15例
						患者相談窓口・クレーム対応9件
						不具合対応:1

H20年度職員研修一覧

2009/4/8現在

回数	日程	テーマ	講師	対象者	出席人数	出席率
1	H20.4.3	新採用レジデント・専門修練医 医療安全講義 (カルテ・与薬指示の書き方,院内における死亡症例の対応)	内藤室長/高田医療 安全管理者 トレーナー:飯原/豊 田/永見/山口	新採用医師 (レジデント・専門 修練医)	47人/48人中	97.9%
		医療安全演習 (気道管理、大腿動脈穿刺、エコーガイド下 CV挿入、CPR・DC)	トレーナー:大西、國 分、山形、中島、江 頭、横山、大西、戸 口、笠原、中尾、山中			
2	H20.4.3	センター新採用時研修	内藤室長、高田医 療安全管理者	新採用者	11人/49人中	22.4%
3~8	H20.4.3	新採用看護師医療安全研修	高田安全管理者/看 護部リスクマネージャー	新採用看護師	88人/88人	100.0%
	H20.4.3	患者確認			74人/88人	84.0%
	H20.4.16	看護技術演習(輸液ポンプ・シリンジポンプ)	看護師		62人/62人	100.0%
	H20.4.23	看護技術演習(アンプルカット・薬剤すいあげ)	看護師		61人/62人	98.4%
		看護技術演習(採血)	看護師			
H20.4.30	医薬品の保管管理、危険薬の取り扱い	岡田医薬品安全管 理者	64人/88人	72.7%		
9	H20.5.23	超音波ガイド下中心静脈穿刺法	北部地区医師会病 院麻酔科・徳嶺譲芳 先生	医師	24人	
10	H20.5.14					
11	H20.5.22	サーボ講習会	臨床工学技師	医師・看護師	139人/未定受講者	
12	H20.5.29					
13	H20.6.18	医(二)医療技術講習 Part1 輸液ポンプ・シリンジポンプのアラーム対応	平井副看護師長	医(二)	64人/184人 (部外者7人)	
14~15	H20.6.25 or 7.2	医(二)医療技術講習 Part2 検査室での急患対応・BLS研修	横山医長/岡田副薬 剤部長/ACLSイン ストラクター		59人/184人	
	16	H20.7.10	医(二)医療技術講習 Part3 移動技術		尾谷主任理学療法 士	
17	H20.7.30	医療訴訟ガイダンス講演会	大阪地方裁判所 医事部	全職員	178/1068人	16.7%
18	H20.9.26	カテトレーニング	福田医師	1年性レジデント	9人/12人	75.0%
19・20	H20.10.1	NPPV勉強会(新規導入含む)	横山医長/藤巻看護 師	必修:ER、CCU、 NCU、ICU、 SCU、8Wスタッ	154人	
	H20.10.8					
21	H20.10.7	肺動脈血栓症の予防と管理	日本シャーウッド(株) マーケティング部クリニカル サポートグループ	全職員	145人	
22	H20.10.24	看護技術の振り返り	看護部RM	新採用看護師	62人/62人	100.0%
23	H20.10.31	大規模災害時における循環器専門病院の 対応		全職員	1033人/1033人	100.0%
24~ 37	H20.11.10 ~11.21 (14回実 施)	DVD上映会:大規模災害時における循環 器専門病院の対応	災害医療センター 循環器科部長			
38~ 40	H20.12.11	サーボ講習会	臨床工学技師	医師・看護師	32人/未定受講者	
	H20.12.15					
	H20.12.16					
41	H21.2.3	医療におけるヒューマンエラーとその対策		全職員	1032人/1032人	100.0%
42~ 54	H21.2.9~ 2.19(14回 実施)	DVD上映会:医療におけるヒューマンエ ラーとその対策	自治医科大学 教授 河野龍太郎			
55	H21.2月	中途採用者対象	内藤室長/高田医療 安全管理者	中途採用者	32人/32人	100.0%
56・57	H21.3.17	医療機器、医用材料を正しく使って、安全 で質の高い看護ケアをしよう講習会	日本シャーウッド、 3M、メディコン、タイコ	看護師	165人(+11人)	
	H21.3.19					

医療機器保守管理指針

国立循環器病センター

医療安全推進室

医療機器保守管理指針

目次

1. はじめに	1
2. 医療機器管理台帳の整備	1
3. 医療機器の保守管理計画の策定	1
(1) 日常点検	1
(2) 定期点検	2
(3) 故障時点検	2
(4) 機器の消毒・清掃	2
4. 医療機器の管理と保守点検の実施	2
(1) 保守点検の記録と保管	2
(2) 保守点検の実施状況等の評価	2
(3) 保守点検の外部委託について	2
(4) 保守点検に関連する予算請求について	3
(5) 医療機器の中央管理について	3
5. 医療機器に係る情報収集と安全使用を目的とした改善の方策	3
(1) 添付文書等の管理	3
(2) 安全性情報等の収集・管理	3
(3) 機器の安全使用のための情報の利用	3
6. 各種機器の保守点検計画	4
(1) 人工心肺・補助循環装置	4
(1-1) 人工心肺装置	4
(1-2) 大動脈内バルーンポンプ (IABP)	9
(1-3) 経皮的な心肺補助装置 (PCPS 装置)	12
(2) 人工呼吸器	15
(3) 血液浄化装置	18
(4) 除細動器	21
(5) 閉鎖式保育器	23
(6) 放射線大型装置	26
(6-1) サイクロトロン	26
(6-2) ガンマナイフ	28
(7) セントラルモニタ	32
(8) シリンジポンプ	35
(9) 輸液ポンプ	38
(10) 体外式ペースメーカー	41

資料

- 資料 1：医療機器保守管理台帳
- 資料 2：医療機器保守管理計画一覧表
- 資料 3：ME 機器中央管理検討委員会規程